

第129回国立天文台運営会議議事抄録

日 時：2026年5月29日（金）11時00分～17時10分

場 所：国立天文台大会議室及びオンライン（Zoom）

出席者（会場）：吉田（議長）、秋山、井岡、鶴澤、勝川、郡、小林、齋藤、阪本、田越、
新沼、山田 各委員

出席者（Zoom）：河野（副議長）、井口、今田、臼田、佐藤、長澤、野村、早野 各委員

欠席者：関委員

オブザーバー：土居台長、玉井部長

【台長挨拶及び委員紹介】

土居台長から、第12期（2026年度～2027年度）国立天文台運営会議開催にあたって挨拶があり、資料1に基づき、委員の紹介があった。

【国立天文台運営会議について】

土居台長から、資料2に基づき、当会議の任務等について説明があった。

【議長及び副議長の選出について】

土居台長から、資料3に基づき、当会議の議長及び副議長の選出について説明があり、審議の結果、吉田委員が議長に、河野委員が副議長にそれぞれ選出された。

【サイエンスレポート】

次のとおり、研究成果の報告があり、質疑応答を行った。

「恒星間空間からきた彗星の太陽接近前後の変化を捉えた！～すばる望遠鏡がとらえた
3I/ATLAS の CO₂/H₂O 比～」

（京都産業大学 神山宇宙科学研究所 専門員 新中 善晴）

【台長等諸報告】

1. 研究教育職員等の人事異動について

土居台長から、資料4に基づき、研究教育職員等の人事異動について報告があった。

2. 台長諸報告

土居台長から、資料5に基づき、国立天文台の概要、TMT関連の状況、将来計画、天文ボランティア議員連盟総会、来訪者等について報告があり、質疑応答を行った。

【議 事】

1. 前回議事抄録について

資料6に基づき、第128回議事抄録について内容を確認した。

2. 研究教育職員等の人事について

(1) 人事選考に関する委員会の設置について

吉田議長から、資料7-1～7-2に基づき、人事選考に関する各委員会について説明があった。続いて、回収資料1に基づき、研究技師系人事候補者選考会構成員を、回収資料2に基づき、助教資格審査委員会委員をそれぞれ選出した。また、回収資料3～4に基づき、前期に承認されたSOLAR-Cプロジェクト准教授と天文情報センター講師の公募に係る人事候補者選考会について説明があり、それぞれ構成員を選出した。

(2) 研究教育職員の公募について

野村委員から、資料8に基づき、科学研究部准教授の女性限定公募について説明があり、審議の結果、承認した。また、配属先を絞った女性限定公募を行う場合は、背景や必要性等を踏まえて今後も慎重に検討することを共有した。併せて回収資料5に基づき、同公募に係る人事候補者選考会について説明があり、構成員を選出した。

続いて鶴澤委員から、資料9に基づき、先端技術センター助教の公募について説明があり、審議の結果、承認した。併せて回収資料6に基づき、同公募に係る人事候補者選考会について説明があり、構成員を選出した。

(3) 年俸制職員（特任教員）の選考について

野村委員から、回収資料7に基づき、科学研究部特任助教の選考について審査報告があった。審議の後、候補者について可否投票を行った結果、次のとおり採用することとした。

科学研究部 特任助教 1名

続いて、野村委員から、回収資料8に基づき、科学研究部特任助教の選考について審査報告があった。審議の後、候補者について可否投票を行った結果、次のとおり採用することとした。

科学研究部 特任助教 1名

(4) クロスアポイントメントについて（報告）

野村委員から、資料10に基づき、統計数理研究所とのクロスアポイントメントの延長について報告があった。

(5) 職務確認書について

土居台長から、資料11に基づき、次の者に係る職務確認書の報告があり、質疑応答を行った。

2026年2月1日付け着任 先端技術センター 前任研究技師 1名

2026年4月1日付け着任 重力波プロジェクト 准教授 1名

2026年4月1日付け着任 先端技術センター 助教 1名

3. 科学研究部科学諮問委員会について

野村委員から、資料12に基づき、科学研究部科学諮問委員会について説明があり、審議の結果、今後答申が出されることを前提として、同委員会の継続を承認することとした。

4. 将来計画策定について

吉田議長から、資料 13-1～13-6に基づき、国立天文台の将来計画策定に係る説明と、第Ⅳ期第17回から第19回までの科学戦略委員会及び第15回から第16回までのサイエンスロードマップ策定委員会（2026年2月20日、2026年3月24日、2026年4月28日開催）における議論について報告があり、質疑応答を行った。続いて、資料13-7に基づき、前期からの申し送り事項となっていた国立天文台サイエンスロードマップ報告書案について説明があり、審議の結果、継続的に更新が行われる旨を序文として付記することとし、その内容をメール審議において確定した後、サイエンスロードマップを公開することとした。また、齋藤委員から、資料13-8に基づき、実施計画の策定手続きについて説明があり、審議の結果、一部の文面を見直すこととした。

5. 報告事項

(1) 専門委員会報告

・ プロジェクト評価委員会

齋藤委員から、資料14に基づき、プロジェクト評価委員会の役割、評価の考え方や進め方、委員構成について説明があった。

・ 研究交流委員会

野村委員から、資料15に基づき、研究交流委員会の役割、委員構成について説明があった。

・ 外部委員協議会

吉田議長から、資料16に基づき、外部委員協議会の役割、委員構成について説明があった。

(2) 今後の開催について

資料17に基づき、次回開催日程を確認した。

以上